

私たちの海の自慢を、ふりかけに集めて伝えよう!



海と日本 PROJECT in くまもと

海と聞いたら、何をイメージしますか。海水浴、船、釣り、魚、マリンスポーツなど、たくさん思い浮かぶことでしょう。今回、校区に海がある天草市立牛深小学校6年生と熊本市立奥古閑小学校5、6年生は、自分たちのくらしの近くにある海について学習し、自慢を発見しました。そして、それぞれの自慢をオリジナルふりかけに詰め込んで、全国に発信することになりました。

【日本財団「海と日本プロジェクト」って?】

海と日本プロジェクトin熊本

検索

私たちの周りには海があります。遊んだり、魚をとって食べたり、私たちの生活を支えてくれています。でも、水が汚れたり、魚が減ったりして、海に元気がなくなっています。だから、たくさんのお友だちに、海が困っていることを知ってもらい、海を助けて、元気な海を未来に残そうと活動しています。これが、日本財団がやっている海と日本プロジェクトです。

海のためできること!

牛深の海自慢 天草市立牛深小学校6年生

牛深は、雑節の生産量が日本一です。雑節というのは、かつお以外の魚で作った節のことを言います。そこで、雑節となる魚が集められる港、雑節が作られる工場、作られた雑節を使ってふりかけをブレンドしました。

海のためできること!

天明の海自慢 熊本市立奥古閑小学校5、6年生



牛深港 牛深の海は、季節によって、いろいろな種類の魚がとれます。港には、大きな水槽があり、新鮮な魚を届けることができるよう工夫されています。雑節になる魚は、巻き網漁でとります。



港は広い

見たことのない魚が泳いでる



牛深から全国に送られるのはスコイ

工場は、海のかおりにつつまれて!

雑節をつくる工場

港から運ばれた魚は、パレットに並べられます。パレットごとゆでて、そのまま乾燥させます。煙で、くんせいにするものもあります。大きさを分けて、出荷されます。

堤防から見えるもの 工場横の堤防に立って見えたのは、遠くにはきれいな海、下には流れ着いたゴミでした。



私たちの海にゴミが落ちてくるのはさみしい



出来上がったふりかけのラベルは、牛深小と奥古閑小のイラストを合わせたものです。お互いの学校、海と山がつながり合い、おいしさを届けてくれます。ふりかけを食べるたび、海への感謝と海のためにできることを思い出すことでしょう。

山を育てることが海を育てることになるんだ

のりの学習

のりは、どのようにして育つのかを、熊本県漁業協同組合の方に教えていただきました。のりは、海の中にある、チッソ・リン・カリウムを食べて育っています。チッソとリンは、山から流れてきたミネラルによって作られるそうです。



キャッチコピー&ラベルデザイン

のりの学習で感じたことを、イラストと文字にしました。イラストには、オリジナルキャラクターに思いを込めたものもありました。



のりは、海の宝だ

人と自然がのりをつくるんだ

ふりかけのブレンド

雑節をふくめた食材を使って、オリジナルのふりかけをつくりました。雑節のおいしさを味わってもらえるように、グループごとに考えました。



少しの味の味がいいかな

海の味がするよ!

キャッチコピー&ラベルデザイン

ここまでの体験を通して感じた牛深の海について、言葉とイラストで伝えます。自分たちの思いを形にしながら、ふりかけにはられるラベルを描きました。



海と魚は牛深の宝だ

牛深の海と言えばブルーだね

交流授業でふりかけ完成!

牛深小と奥古閑小の希望する子どもたちが集まり、交流授業が、で行われました。



青い

ゴミ

つり

「海」からイメージすることを書き出しました。どのグループが、一番多かったかな。



魚がとれる海でたくさんゴミを発見しました

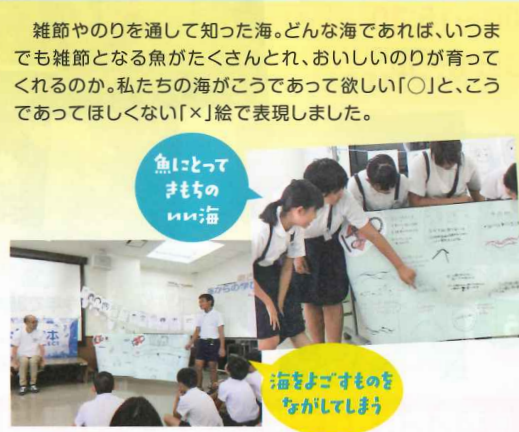
仲良くなったお友だちに、自分たちが学習したことを伝えよう。牛深小は、雑節。奥古閑小は、のり。それぞれ紹介してくれました。



学校でつくる海でのりも育ちます



二つの小学校で考えた、海の自慢をいっしょにつめこんだふりかけ。どのように作られるのかを知るために、工場見学に出かけました。



魚にとってまものいい海

海をよごすものをながしてしま



ゴミをすてない

食べ残しをしない

分別してゴミを捨てる

私たちの海を守っていくため何ができるのか。それぞれが考え、お友だちに伝えてもらいました。